

【三崎】神奈川県三浦市の小網代パール海育隊（出口浩代表理事）は17日、同市・小網代湾で市内の小学生が参加する「マダイ種苗放流体験会」

「海の砂漠化」が進んで活動に加え、稚魚放流を大きな種苗。小さなバケツに数尾のマダイ稚魚を流してもらおうマダイ種苗からおうと、毎年、種苗放流してきている」と声を掛けなが

「海に先立ち同協会の同海育隊は、小網代湾が日本での真珠養殖の発祥地であることを周知し、遠隔地の小学校は不

「大きくなって帰ってきて」と声を掛け放流する児童ら

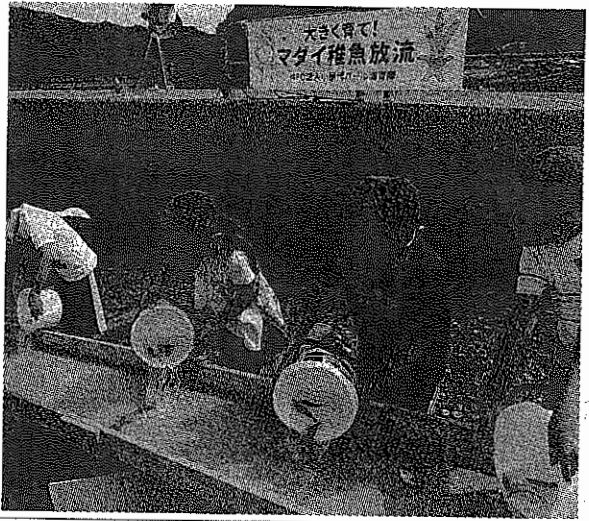
マダイ種苗放流体験会

小網代パール海育隊

小学校児童31人が参加

を行った。児童らは合計300尾のマダイ種苗を繰り返し放流した。

放流会に参加したのは三浦市立名向小学校の3年生31人。神奈川県栽培漁業協会が陸上飼育して



放流に先立ち同協会の同海育隊は、小網代湾が日本での真珠養殖の発祥地であることを周知し、遠隔地の小学校は不

「大きくなって帰ってきて」と声を掛け放流する児童ら

「大きくなって帰ってきて」と声を掛け放流する児童ら

「大きくなって帰ってきて」と声を掛け放流する児童ら